

福岡市 水素リーダー都市プロジェクト

HYDROGEN LEADER CITY PROJECT

市民に身近な水素 ～都市型水素のチャレンジ～

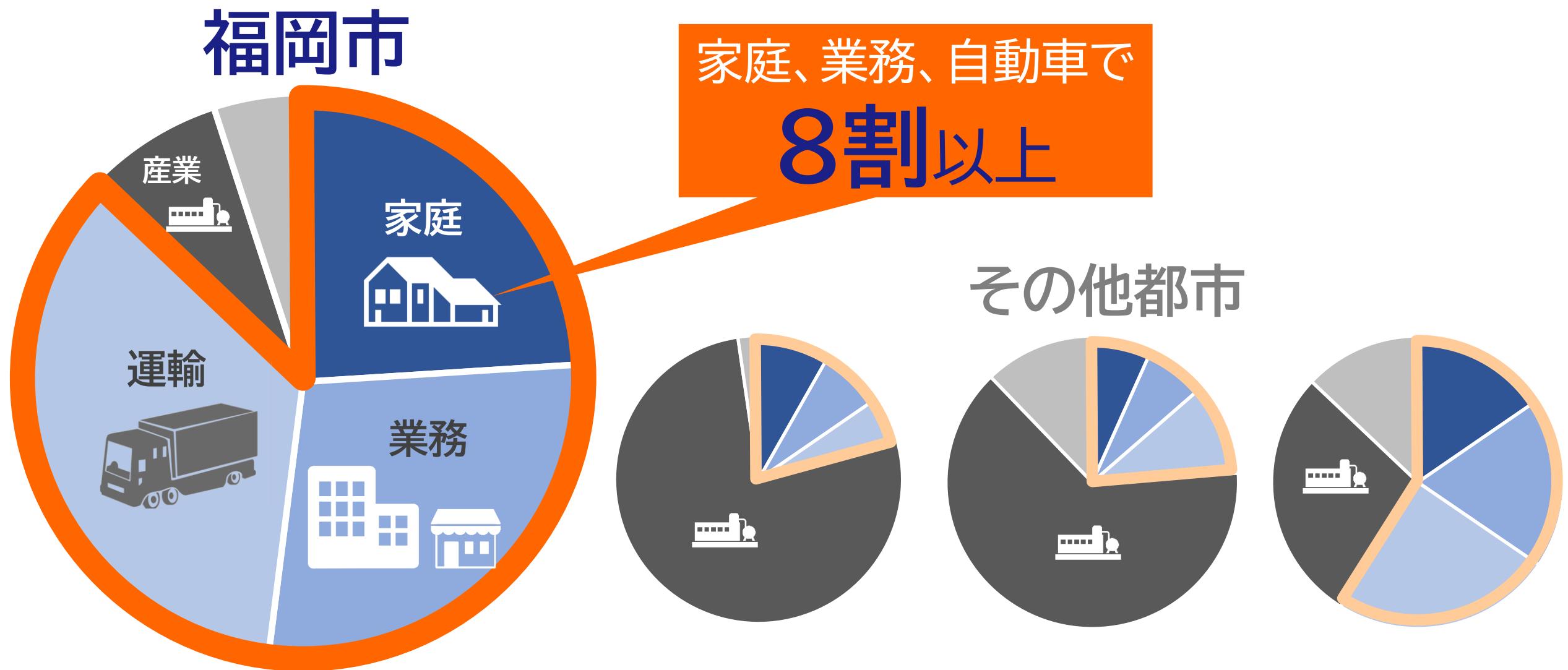


本資料の無断複製・転載禁止

福岡市の都市特性

- 人口165万人 人口増加数・率ともに政令市1位
- 第3次産業が9割を占める(一級河川がなく、大規模工場がない)

部門別CO2排出量の割合(都市比較)



市民に身近な「まち」に水素を実装

①下水バイオガス由来水素ステーションの運営

つくる

②FCモビリティの導入促進

つかう

③まちへの水素実装

ためる
はこぶ

つかう

「つくる」「ためる・はこぶ」「つかう」の**全方位**で事業展開

⇒水素社会の実現に向けて、**需要と供給**を同時に高めていく

① 下水バイオガス由来水素ステーションの運営

- ・2015年 国土交通省「下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)」に採択、“世界初”下水バイオガス由来の水素ステーションの実証を開始
- ・2022年より官民連携の共同体を設立し、運営を実施

世界初！

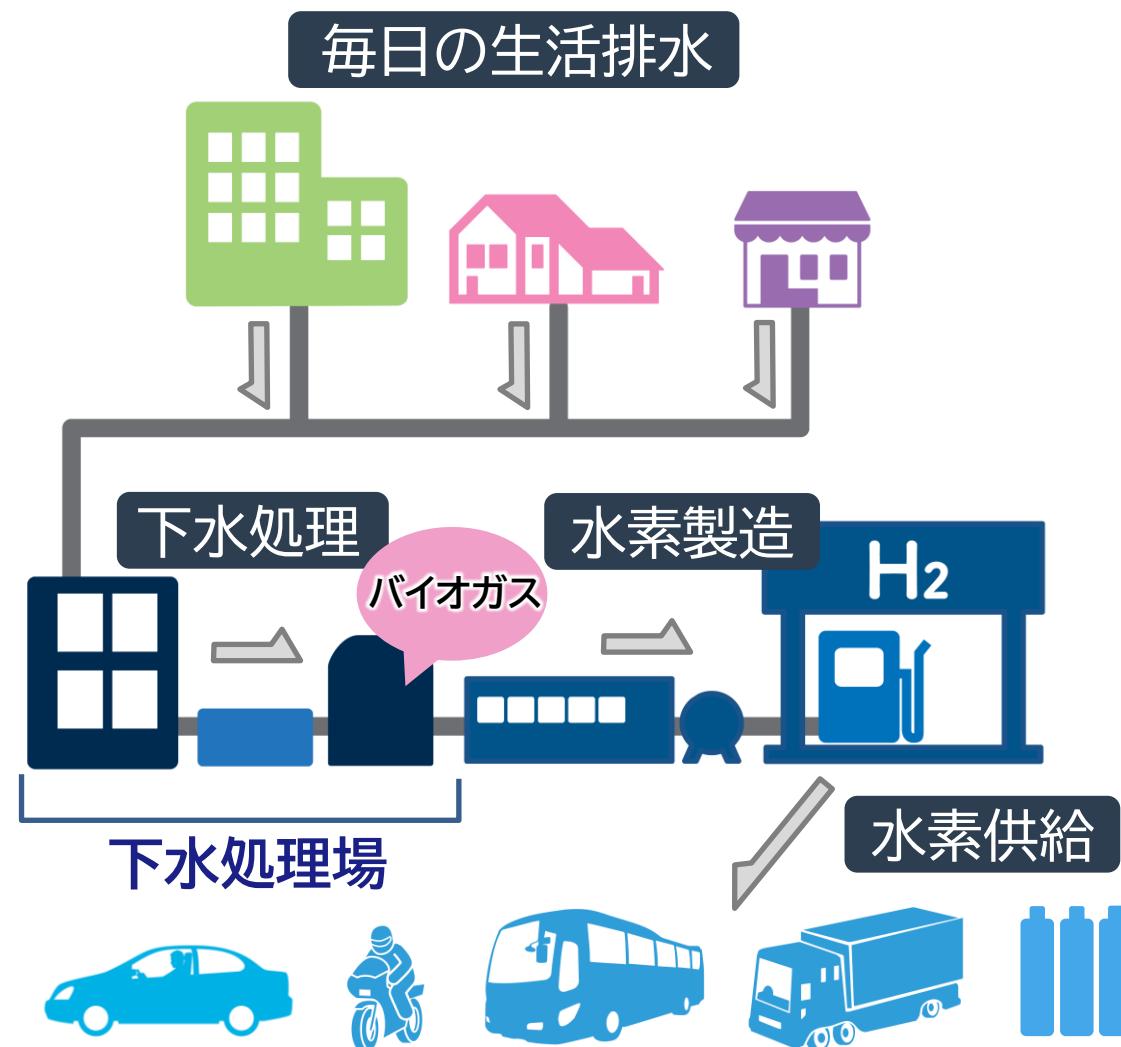


共同体メンバー

西部ガス、正興電機製作所、豊田通商、西日本プラント工業、三菱化工機、九州大学、福岡市

仕組み

- ・市民生活から排出される下水処理の過程で発生する下水バイオガスを活用し、水素を製造。



②FCモビリティの導入促進

- 水素で走行する移動式発電・給電システム**Moving e**を“世界初”導入

世界初！



With moving e



電力供給(直接)



防災啓発



電力供給(バッテリー)



マラソンでの収容



水素教室



(世界水泳)

平常時も災害時も**フェーズフリー**で運用

市民、民間事業者の**水素利用を喚起**

②FCモビリティの導入促進

- 中学校・特別支援学校の給食を運搬する**FC給食配送車**を“日本初”導入
- 将来の脱炭素社会を担う**若い世代への普及啓発**にも貢献



民間の配送事業者のFC車両導入を**後押し**

②FCモビリティの導入促進

- **FCごみ収集車**を“日本初”導入
- 夜間ごみ収集の**走行時の騒音軽減**にも寄与

日本初！



②FCモビリティの導入促進

- **FC救急車**を“日本初”実証導入※。
- **振動が少なく**、患者の体にかかる負担の軽減にも期待。

※自治体として日本初

日本初！



他自治体への横展開

③まちへの水素実装

- 様々な社会課題を先進的な技術導入による課題解決に取り組む
「九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり」において、水素実装を推進

位置図

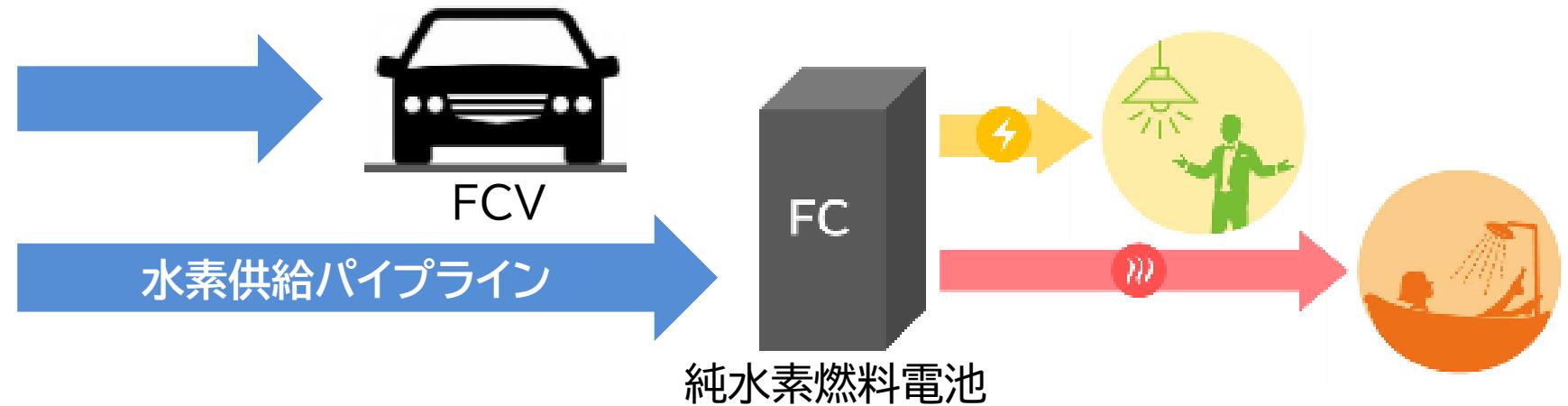
天神、博多駅のほか、福岡空港や博多港からも
5km以内にあり、交通利便性も高い



<九州大学・UR都市機構 公表資料より引用、一部加工>

③まちへの水素実装

- 市民生活への水素実装に向けて、水素の供給や利活用に取り組む
(水素ステーション整備、水素パイプライン整備、純水素燃料電池の導入など)



※ 詳細な設置位置等は検討中。

福岡市水素リーダー都市プロジェクト 今後の展開



- 「需要・供給の創出」と「市民啓発や理解促進」を**福岡市が率先**して両輪で取り組む

水素普及、下水バイオガス由来水素ST 需要・供給の創出



水素社会の実現

全国・世界へ

共感と
スピード感

市民啓発や理解促進

モデル
構築

スモール
サクセス

トライ&
エラー

